

## 証明問題

### 例題 1

$a, b, c$  を整数とする. このとき, 次のことを示せ.

- (1)  $a^2$  を 3 で割ると余りは 0 または 1 である.
- (2)  $a^2 + b^2$  が 3 の倍数ならば,  $a, b$  はともに 3 の倍数である.

### ✓ 解答

(1) 3 で割った余りを考えるので, はじめから  $a$  も 3 で割った余りで分類しておけばいい.

①  $a = 3k$  のとき

$a^2 = 9k^2$  より, 3 で割った余りは 0.

②  $a = 3k + 1$  のとき

$a^2 = 9k^2 + 6k + 1 = 3(3k^2 + 2k) + 1$  より, 3 で割った余りは 1.

③  $a = 3k + 2$  のとき

$a^2 = 9k^2 + 12k + 4 = 3(3k^2 + 4k + 1) + 1$  より, 3 で割った余りは 1.

以上より,  $a^2$  を 3 で割った余りは 0 または 1 である. (この結果はよく使うので覚える.)

(2)  $a^2 + b^2$  の情報から  $a, b$  を復元するのは難しいので, 対偶命題

「 $a, b$  のうち少なくとも一方が 3 の倍数でない  $\Rightarrow a^2 + b^2$  は 3 の倍数ではない」

を示す.

$a$  が 3 の倍数でないと仮定しても一般性は失わない (条件は  $a, b$  に関して対称だから). このとき, (1) より  $a^2$  を 3 で割った余りは 1 である.  $b^2$  を 3 で割った余りは 0 または 1 であるから,  $a^2 + b^2$  を 3 で割った余りは 1 または 2 である. よって,  $a^2 + b^2$  は 3 の倍数ではない. 対偶命題が示されたので, 元の命題も示された. (証明終)

### 問 1

$a, b, c$  を整数とするとき, 次の問に答えよ.

- (1)  $a^2$  を 4 で割ると余りは 0 または 1 であることを示せ.
- (2)  $a^2 + b^2$  が 4 の倍数ならば,  $a, b$  はともに偶数であることを示せ.

### 問 2

$n$  を奇数とするとき, 次の問に答えよ.

- (1)  $n^2 - 1$  は 8 の倍数であることを示せ.
- (2)  $n^5 - n$  は 3 の倍数であることを示せ.

[千葉大]